

週日の説教

金 大烈 神父 2009年11月18日(水)

《正しい結び合いの条件と皆が頂いた力》

おはようございます。

今日の福音(ルカ 19・11-28)の内容は何でしょうか。怖いでしょう。どんな意味を持っていると思いますか。今日の福音の中にムナという貨幣単位が出てきました。そして、十人の僕を選んでいくらずつあげたと言っていますか? 一ムナあげたと言っています。その中で三人が前に進み出て、最初の者が「ご主人様、あなたの一ムナで十ムナもうけました。」もう一人は「五ムナ稼ぎました。」最後の人は「布に包んでしまっておきました。あなたが厳しい方なので、恐ろしかったのです。」と言っています。

一ムナはどのくらいのお金でしょうか。ギリシャの貨幣単位ですが、これは、普通の労働者が大体100日間働いて得られるお金だそうです。結構大きな金額です。

さあ、イエス様が、王の位を受けて帰って来た者から「悪い僕だ」と言われたその者の口から出された言葉、その言葉どうりに使って話されます。「その言葉のゆえにお前を裁こう。私が預けなかったものも取り立て、蒔かなかったものも刈り取る厳しい人間だと知っていたのか。」と言う返事でしたね。

この福音に対して色々な解釈が出来るのですが、今日、皆様と一緒に分かち合いたいのは、恐ろしさ、怖さについてです。三番目の人は「あなたが怖くて、私しは何かをするのが難しかったので、このまま置きっぱなしにしました。」と言っていますね。私達が考えなければならないのは、この恐れ、この怖さです。この状態では、絶対何の関わりもうまく結べません。皆様の関係をちょっと見回してください。恐れによって結ばれた関係、それは関係でしょうか。関係ではありません。信仰の生活をしていいますと言いながら、喜びの無い人々は、大体神様に対して怖さ、怖いイメージを持っています。例えば「地獄に落ちるのではないだろうか」という様なイメージです。ですから、神様との正しい結び合いが出来ないでしょう。皆様一つのメッセージです。恐ろしさによって正しい事を、正しい道を歩む事は出来ません。今日の福音はそういう意味です。

さあ、二つ目のメッセージを考えて見ましょう。今日イエス様が例えに用いたムナってどういう事でしょうか。この福音の中でのムナの意味は、それは“力”です。神様から頂いた全ての人に与えられた賜物です。大体私は「あのより神様から頂いた物が少ない」と思うかも知れませんが、神様は一人一人に同じ量のムナを与えました。ただこの“力”を生かせたのか、生かせなかったのかによって差が生じます。一ムナをそのまま神様に返す人もいるし、一ムナを十倍にして返す人もいます。

さあ、それでは神様から頂いたムナは何でしょうか。何の“力”でしょうか。簡単です。それは愛の“力”です。全ての人間は愛することが出来ると思いますし、又、愛を受けることが出来ます。しかし、私達は「あの人は愛が豊か、あの人はものすごく冷たくて、自分ばかり分かっている」と直ぐ言います。しかし、私達はこう言う部分では文句言う立場ではありません。なぜなら、神様は、すでに全ての人間に同じ能力、愛する能力を下さった訳ですから。ですから、愛するのが出来なかった事も、愛されなかった事も自分のせいにするのが正しい事です。私達皆は愛する力を持っています。信じなきゃならない素晴らしい力です。この福音をとうして、皆様も私も、神様から頂いた“力”、その“力”をどの様に生かして行くかを取り組んで行きましょう。

ありがとうございました。